

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.121		笠原地区	生物地理区分		シイ・カシ萌芽林	
			地域区分		奥山周辺	
所在地	都道府県	福岡県	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	八女市(旧黒木町)		4.低地	5.その他	
	集落名称等	大字笠原	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
		4.畑		5.小川・水路	6.ため池	
				7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林
				10.その他		

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
保安林	<ul style="list-style-type: none"> ・霊巖寺(中国より伝来した八女茶発祥の地) ・小学生による人形浄瑠璃の継承
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
	<p>観光パンフレット等に写真が使用されている 棚田、里山、川が一体となっている 風景探勝や撮影の来訪者が多い・NHK ドラマ「母さんへ」の撮影地</p>



撮影時期：2004年9月
 写真の説明：里山と棚田、集落が一体となった対象地の風景。里山の多くはスギとヒノキ林に林種転換されているが、強間伐や群状間伐と広葉樹の植栽により針広混交林に改善していく活動を進めている。



撮影時期：2007年9月
 写真の説明：元小学校だった校舎を都市と農山村との交流、農林体験活動の拠点として活用している。太陽光発電パネル、小型風力発電機、薪ボイラー、薪ストーブ、オガクズバイオトイレなどを設置。周囲は棚田と里山に囲まれ、校舎のすぐ裏側には川が流れている。

NO.121		笠原地区		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	福岡県			2.団体・企業・学校等
	市町村	八女市(旧黒木町)			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等	大字笠原			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称		山村塾、JCVN(日本環境保全ボランティアネットワーク)		
	その他の主体の名称		笠原里山振興会、(社)国土緑化推進機構、八女市(旧黒木町)		
目的 :主 :その他	1.農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)				
	対象・取組内容	スギ、ヒノキ人工林の間伐や枝打ちによる下層植生の回復や種多様性、水源涵養機能の復元などの支援。崩壊した棚田の石積修復の支援			
	支援措置				
	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用				
	自然観察会				
	環境教育・学習活動	*	子供自然キャンプ		
	里地里山体験・環境保全	*	里山保全ミニワーク		
	農林業体験活動	*	間伐、枝打ち、茶摘み・茶づくり、田植、稲刈、菜種まき、レンゲまき等		
	エコツアー				
	その他				
5.地域の良好な景観の保全・修復					
取組内容	人工林の群状間伐による針交混交林への林種転換。崩壊した棚田の石積修復。休耕田での菜種やレンゲの栽培				
6.里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承					
対象	生活行事				
	資源利用技術	*	炭焼き、シイタケ原木栽培による雑木林の伐採萌芽更新と循環利用		
	その他	*	棚田の石積修復技術の継承		
取組内容	上記について地元の古老から技術の習得				
連携・協働による取組内容・役割分担等		<p>・「山村塾」は、地元の有機農家や林業家と都市の消費者が連携した団体で、大学の研究室の協力、支援を受けて里山の保全活動をしている。</p> <p>・「笠原東交流センターえがおの森」(笠原里山振興会が管理)を農林体験交流の拠点施設として活用している。</p> <p>・1997年より毎年9泊10日間の国際里山・田園保全ワーキングホリデーを開催している。(主催:山村塾、共催:JCVN、笠原里山振興会)</p> <p>・2008年より毎年80日間及び20日間の里山保全ボランティア活動を開催している。(主催:山村塾、協力:NICE、JCVN、笠原里山振興会)</p> <p>・(社)国土緑化推進機構の水と緑の森林基金による助成を受けてモデル事業を実施(平成19~22年度)</p>			
取組の特徴や強調したい点		<p>・八女茶の産地として知られる。</p> <p>・「笠原東交流センターえがおの森」は、廃校となった小学校の校舎を利用。</p>			

取組の概要	大学、活動団体の支援により、人工林の林種転換等で里山景観を回復	課題グループ 景観文化 学習体験 仕組 手法
事例の特性	専門技術を活かした里地里山再生(人工林)	
取組の中で他の地域の参考となる点	地元の農家・林家と都市の消費者が連携した活動団体が大学研究室と協力し、人工林の間伐や枝打ちによる下層植生の回復や林種転換、種多様性の向上などを推進。棚田の石積修復など景観保全や地域文化継承にも取り組む。	

資料:山村塾 HP <http://www.h3.dion.ne.jp/~sannsonn/>

山村塾通信 2008年3月号 <http://www.h3.dion.ne.jp/~sannsonn/news-backnumber/200803L.pdf>